

優良現場の紹介

1. 表彰年度：令和5年度
2. 事業場名：戸田建設株式会社 宇治田原トンネル東作業所
3. 工事名：新名神高速道路 宇治田原トンネル東工事
4. 発注者名：西日本高速道路株式会社 関西支社

5. 工事概要

新名神高速道路京都区間は滋賀県大津市から、京都府城陽市に至る約12.9kmの高速道路事業で、名神高速道路との適切な通行分担機能の確保、混雑解消、災害や事故の際のバイパス機能を発揮することを目的としている。

このうち宇治田原トンネルは上り線延長1,984m、下り線延長1,924mであり、東工事は上り線延長1,162m、下り線延長932mを施工するものである。

工事場所：京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺～荒木

工事内容：トンネル掘削 上り線1,162m、下り線932m、盛土工 310,000m³

橋台4基（新設橋台2基、既設橋台拡幅2基）



6. 表彰の対象となった具体的内容

1) 取扱所・火工所の管理

- ①火工所での親ダイ作成・解体作業の際、作業者はアースバンドをつけることで静電気を除去して作業ができる。
- ②取扱所・火工所の入り口に可動式の雨よけを設置している。雨天時に火薬類が濡れて不発にならないようにしている。
- ③取扱所・火工所の一般道に面した側に、防爆壁を設置している。万が一の災害が発生した際でも第三者への被害を未然に防いでいる。

2) 発破場所の管理

- ④発破母線の端部付近と電線との交差部では、φ600ボイド管の中央に電線を通して離隔30cmを確保している。発破母線を発破器に接続する際、電線との離隔が近接しないようにしている。
- ⑤発破指揮者以外の作業員が退避する退避場所は大型鋼製ボックスを設置している。退避場所の出入口はトンネル中央側に壁を設けて、危険側の防護を強化してリスクを排除している。

